

○事業所名	児童デイあつたまある美園		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日		～ 令和 7 年 2 月 28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日		～ 令和 7 年 2 月 28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 14 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	バリアフリーの建物で、庭もある。	車椅子の利用者にも利用しやすい環境である。 療育の中に庭に出て活動する時間を設けて、心身のリフレッシュをはかっている。夏は庭でプールを楽しんでいる。	庭でミニキャンプなどのイベントを開催したい。
2	勤続年数が長く、ほぼ毎日出勤している職員が多い。	勤務歴の長い職員が全員ほぼ毎日出勤し、児童の状態や状況を把握・共有しやすい環境となっている。	マンネリや思い込みをおこす可能性もあるため、他事業所や関係機関との連携で、いろいろな情報を得て、新鮮な気持ちで療育に臨めるよう研修機会を設けていきたい。
3	部屋数が3つあり、庭もあることから、それぞれの児童が自分の落ち着く場所で安心して活動できる。	部屋ごとにある程度趣向を変えて（置いてある玩具など）、その場所が安心できる落ち着ける場所ととらえられるようにしている。また各部屋を行き来することで場面転換を味わうことができ、気分が変わって楽しめる。	大きな療育室では、集団活動ができるようにしていきたい。庭ではスポーツを楽しむことも始めたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間のミーティングが、その日のうち（終業後）にはできず翌日になってしまうことが多い。 当日中に共有したいことは書面にしてできる限り共有しているが、対応について協議するといったミーティングは翌日になってしまう。	職員の帰宅時間が遅くならないようにし、職員の疲れを溜めないようにとの配慮から、すみやかに退勤させたいとの会社の意向がある。	急を要するものは書面にて残し、その日のうちに（退勤前に）各職員が目を通すようになっている。そこで疑問点があった場合には、電話等で管理者や担当者と詳細について話す。最も緊急性の高いものは、職員が残業して共有、対応していく。
2	危険な箇所について対策の検討を重ねているが、予期せぬ事故について、もっと考えていかなければならない。	バリアフリーの箇所が多く、比較的安全に過ごせる環境だとは思いますが、それに安心してしまっているところがある。	安心せず、常に注意を払って事故防止に努めなければならない。児童の特性もよく把握し、さまざまなケースを想定しておきたい。
3	周辺の住民や関係機関など地域の方々と触れ合うことができていない。 保護者同士が知り合ったり交流する場が設けられていない。	以前は近隣の保育園・幼稚園と交流があったり、保護者の茶話会を開催していたが、コロナウイルスの流行以降、感染症に関する危機意識が高くなり、交流する計画が立てにくくなってしまった。	感染症には十分に留意するルールを設けて、危険のない範囲で交流する活動を行なっていきたい。